

育成センターだより

5月 第2号
那賀町青少年健全育成センター

♪ 屋根より高いこいのぼり♪

♪ 麓(いらか)の波と 雲の波
重なる波の 中空(なかぞら)を
橋(たちばな)かおる 朝風に
高く泳ぐや 鯉のぼり♪



新緑が映え、過ごしやすい季節を迎えています。5月に入り、町内をパトロールしていると、いろいろな地域で鯉のぼりを目にします。ついこのメロディが口を突いて出てきます。今の子どもたちは♪屋根より高いこいのぼり~でしょうか。最近、この鯉のぼりの泳ぐ風景もだんだんと減ってきたように感じます。5月5日の「端午の節句」は子どもたちの健やかな成長を願って五月人形を飾り、鯉のぼりを立て祝います。

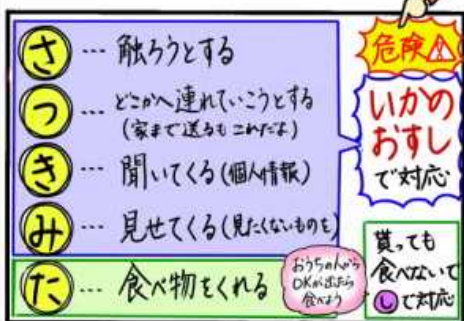
子どもたちが、いろいろなことを経験し、立派に成長していく。このことは当然の流れだと思いますが、現実はそのではありません。危機管理が進み、生活環境が整備され、比較的安全と言われている日本社会においても、交通事故や水難事故、或いは犯罪等において、毎日のように多くの子どもたちの生命が脅かされたり、奪われたりしています。先日も千葉県で悲しい出来事がありました。自然災害や不治の病等、子どもたちを完全に守ることができない事柄もありますが、私たち大人が事件や事故の防止対策に万全に取り組むことにより、その被害を最小限に食い止めることは可能だと思います。

子どもは何物にも代え難い宝です。子どもたちが元気に活動し、健やかに成長していく姿は、地域の私たちに元気を与えてくれるだけでなく、地域の活性化にも繋がっています。

晩春の青空にたなびく鯉のぼりを眺めながら、子どもたちの健やかな成長を願いつつ、街頭パトロールの大切さを感じています。

子どもの安全を守るために「さっきみた」

必要以上の接触を感じたら「いかのおすし」発動ですが、その判断基準に「さっきみた」はどうでしょう？



「さ」 触ろうとする、はチカンはもちろん、連れ去ろうと手を伸ばしてくる、近づいてくる。

「つ」 ついてくる。連れて行こうとする。

「き」 聞いてくる、は個人情報聞き出そうとする。

「み」 見せてくる、は露出狂はじめ、子どもが興味のあるものをチラつかせ連れ去ろうとする。

「た」 食べ物をくれる。

出典：Upload By じゃがころ

“不審者”ってどんな風に教える？



4月以降、県下の各青少年補導センターから不審者情報が毎日のように入ってきます。本センター内においては、「児童・生徒が、身体に触られた、声をかけられた」等の直接的な被害の情報は入っていません。しかし、いつ不審者に出会い、不安な思いをするかも知りません。不審者に対しては十分に注意し、被害に遭わないよう最善の対応策がとれるよう日ごろから心がけておきましょう。



学校で「いかのおすし」という標語を使って、知らない人に声をかけられたときの対策を教えてくれたのですが〜「挨拶は知らない人でもしていいんだよ」と言いましたが、子どもにはその加減が難しいようです。普段から顔を知ってたら安心というわけでもありませんし、挨拶だって警戒してしまうのも無理もない世の中。基本は地域の方と気持ちよく挨拶や交流を図りたいところですが、子どもが親の目を離れたときは警戒しすぎるくらいでいいのかもしれませんが、ただ、親としては複雑…。

出典：Upload By じゃがころ

不審者を見かけたときは

不審者を見かけた時は、速やかに在籍の学校や最寄りの派出所や警察署・当センター等にこー報ください。また、ご家庭で子どもからの情報があれば、すぐ通報していただければ、早期の解決に結びつくと思います。宜しくお願いします。

相談ホットライン ☎ 62-1106